

Autumn/Winter 2026

BEAUTY CREATORS INSPIRE

SCULPTURAL GLAM





Autumn/Winter 2026 BEAUTY CREATORS INSPIRE

SCULPTURAL GLAM

2026年秋冬、不確かな時代の中で、フォルムそのものが意思となる。

ヘアはもはやスタイルではなく、構造であり、存在であり、アティテュードとなる。

くっきりと浮かび上がった輪郭と彫刻のようなフォルムが、

大胆で表現力のある個性を形づくり、光を帯びた質感がその奥行きを際立たせる。

美しさは形となり、その形がアイデンティティへと変わる。

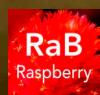




GRAPHIC ROUGE

グラフィカルなショートに、赤の余韻を添えて。

丸みを残したショートフォルムに、不揃いなフロントラインでエッジを加えたデザイン。根元の深いボルドーから、毛先の淡いピンクへと色を移ろわせ、前髪にはあえてブリーチのイエロー感を残したカラーリングが、鋭さの中にアンニュイなニュアンスを滲ませる。クラシカルな空気感の中に、フロントラインのシャープさが際立つ。





DRIFT VEIL

色彩が絡み合う、エモーショナルなロング。

レッドをアクセントに4〜5色を繊細に重ね、部分的に残したハイトーンの視覚効果で、艶やかなストレートロングに流れるような奥行きをプラス。髪が揺れ、毛束が絡み合うたびに異なる色が浮かび上がり、単色では生まれない揺らぎのあるニュアンスを描き出す。強いコントラストではなく、色同士が自然に溶け合い、しなやかな強さを秘めたスタイルに。

CoG
Cool Gray

TB
True Berry

TURQUOISE
BLUE

RED



FLUID DECO

ほどける曲線に、色が滲むフルイドなフォルム。

直線と曲線を共存させたカットラインに、ウェットな質感で柔らかな動きをプラス。ホワイトをベースに、根元にはバイオレットを、毛先には淡いピンクを重ねたカラーリングが、髪揺れとともに繊細なニュアンスを浮かび上がらせる。面の光沢と、風を孕むような浮遊感が交差し、中性的でつかみどころのないムードが生まれる。





MIDNIGHT GLAM

艶を高めて、色を沈める。静謐なコントラスト。

大きなウェーブを描きながら、膨らみを抑えたスリークなフォルムで、静かなグラム感を表現。顔まわりにネイビーの陰影を差し込み、フロントの印象をドラマティックに見せる設計に。長めのバングと流れるような曲線が、フェミニンな柔らかさにアティテュードを与える。艶を帯びた面が、ウェーブの立体感とフォルムの完成度を際立たせる。

MIDNIGHT
BLACK



LUMI EDGE

光を宿すハイライトで、輪郭を引き締めるショート。

頬骨へ切り込むようにサイドバングをデザインし、丸みの中にエッジを仕込んだヘアカット。ナチュラルブラウンをベースに、イエロー、ネイビー、アプリコットのハイライトカラーを重ねることで、動くたびに色と光のコントラストが浮かび上がる。コンパクトなフォルムの中に、柔らかさと緊張感が共存する、彫刻的なラインショート。





SHADOW STREAM

光と影を流し込む、ブルーブラックの陰影。

前下がりのセンターパートでライン感を際立たせ、動かしすぎない設計で構築的なフォルムを形成。ホワイトベースに、ターコイズや青みピンクを重ねた上から、片側へブルーブラックを配置することで、非対称の陰影と奥行きを演出する。面の艶を活かした質感コントロールが、シャープなフォルムに静かな強度を与える。





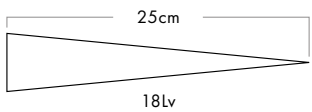
GRAPHIC ROUGE

STYLE

丸みを残したショートフォルムに、不揃いなフロントラインでエッジを加えたデザイン。根元の深いボルドーから、毛先の淡いピンクへと色を移ろわせ、前髪にはあえてブリーチのイエロー感を残したカラーリングが、鋭さの中にアンニュイなニュアンスを滲ませる。クラシカルな空気感の中に、フロントラインのシャープさが際立つ。



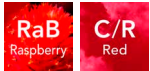
Beforeの状態



カラー使用プロダクト



PRIMIENCE



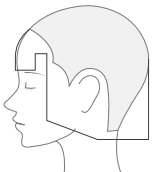
カラーレシピ&プロセス

A RaB 7 1
C/R 1
3%



1. 〰️を除く全体の根元4cmのみ **A** を塗布し、20分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

SUBLIMIC

(1) AQUA INTENSIVE VELVET OIL

1. (1)を毛先中心になじませてドライ。
2. ストレートアイロンで全体にツヤを出すようにスルーをし、再度(1)を全体になじませ、滑らかなシェープとバングにニュアンスを創りながらスタイリング。



(1)

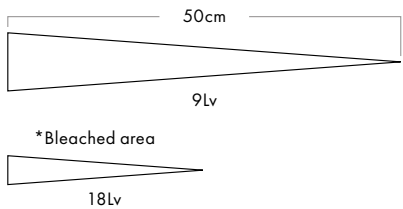


DRIFT VEIL

STYLE

レッドをアクセントに4～5色を繊細に重ね、部分的に残したハイトーンの視覚効果で、艶やかなストレートロングに流れるような奥行きをプラス。髪が揺れ、毛束が絡み合うたびに異なる色が浮かび上がり、単色では生まれない揺らぎのあるニュアンスを描き出す。強いコントラストではなく、色同士が自然に溶け合い、しなやかな強さを秘めたスタイルに。

Beforeの状態



カラー使用プロダクト



PRIMIENCE



カラーレシピ&プロセス

A CoG 9
3%

B TB/9
3%

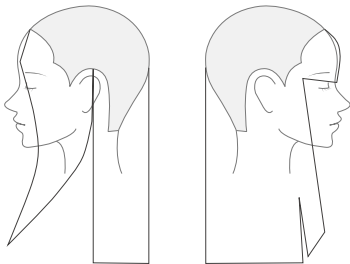
C TURQUOISE BLUE

D RED



1. 左サイドにのみ施したセクションブリーチのベースに対して、それぞれ **A B C D** をスライシングで分け取り塗布し、20分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

SUBLIMIC

(1) AIRY FLOW SHEER OIL

STAGE WORKS

(2) LUSTER SPRAY

1. (1)を全体になじませてドライ。
2. (2)を全体にスプレーし、シェープを整えるようにしてスタイリング。



(1)



(2)





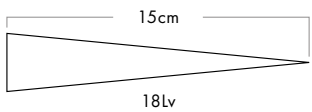
FLUID DECO

STYLE

直線と曲線を共存させたカットラインに、ウェットな質感で柔らかな動きをプラス。ホホワイトをベースに、根元にはバイオレットを、毛先には淡いピンクを重ねたカラーリングが、髪の揺れとともに繊細なニュアンスを浮かび上がらせる。面の光沢と、風を孕むような浮遊感が交差し、中性的でつかみどころのないムードが生まれる。



Beforeの状態



カラー使用プロダクト



カラーレシピ&プロセス

A	IV/11	1
	CL/0	4
	3%	
B	MP/11	1
	CL/0	4
	3%	
C	CG/11	1
	CL/0	4
	3%	



1. 全体の根元に **A** を塗布。
2. バングとネーブにポイントで **B** を塗布。全体の毛先に **C** を塗布し、15分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

STAGE WORKS

- (1) GELÉE SHAKE
(2) TRUE EFFECTOR (SHINE)

1. ドライ後、(1)を全体に塗布しなじませる。
2. (2)を根元になじませボリュームダウンさせながら、毛流れを整えてスタイリングする。



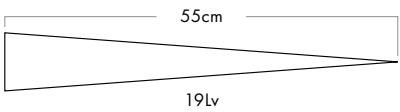
SHISEIDO
PROFESSIONAL

MIDNIGHT GLAM

STYLE

大きなウェーブを描きながら、膨らみを抑えたスリークなフォルムで、静かなグラム感を表現。顔まわりにネイビーの陰影を差し込み、フロントの印象をドラマティックに見せる設計に。長めのバングと流れるような曲線が、フェミニンな柔らかさにアティテュードを与える。艶を帯びた面が、ウェーブの立体感とフォルムの完成度を際立たせる。

Beforeの状態

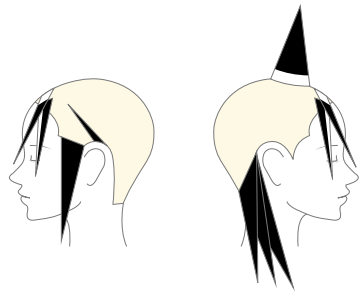


カラー使用プロダクト



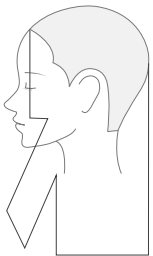
カラーレシピ&プロセス

- A** MIDNIGHT BLACK



1. パネルごとに必要な部分に **A** をホイルワークで塗布し、15分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

SUBLIMIC

- (1) LUMINOFORCE BRILLIANCE OIL

1. (1)を全体になじませてドライ。
2. 32mmのカールアイロンで全体に立体感のあるウェーブを創り、再度(1)を塗布し、質感を整える。



SHISEIDO
PROFESSIONAL



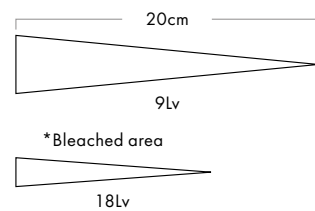
LUMI EDGE

STYLE

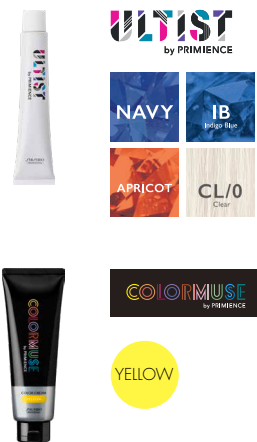
頬骨へ切り込むようにサイドバングをデザインし、丸みの中にエッジを仕込んだヘアカット。ナチュラルブラウンをベースに、イエロー、ネイビー、アプリコットのハイライトカラーを重ねることで、動くたびに色と光のコントラストが浮かび上がる。コンパクトなフォルムの中に、柔らかさと緊張感が共存する、彫刻的なラインショート。



Beforeの状態



カラー使用プロダクト

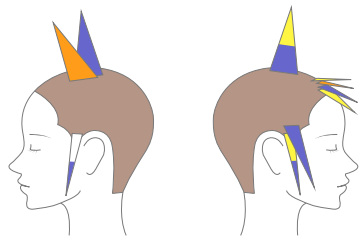


カラーレシピ&プロセス

A YELLOW

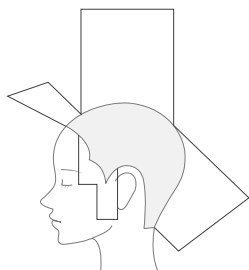
B NAVY 1
IB/9 1
CL/O 2
3%

C APRICOT 3%



1. ランダムにブリーチのベースを残しながら、それぞれのパネルに **A B C** を塗布し、20分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

SUBLIMIC

(1) LUMINOFORCE BRILLIANCE OIL

STAGE WORKS

(2) STRUCTURE HOLD SPRAY

- (1) を毛先中心になじませてドライ。
- 全体にツヤを出すようにストレートアイロンをスルーする。
- (2) を全体にスプレーし、毛流れを強調しながらスタイリング。



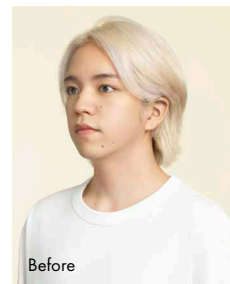
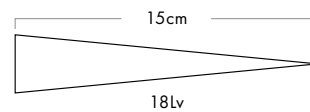
SHISEIDO
PROFESSIONAL

SHADOW STREAM

STYLE

前下がりのセンターパートでライン感を際立たせ、動かしすぎない設計で構築的なフォルムを形成。ホワイトベースに、ターコイズや青みピンクを重ねた上から、片側へブルーブラックを配置することで、非対称の陰影と奥行きを演出する。面の艶を活かした質感コントロールが、シャープなフォルムに静かな強度を与える。

Beforeの状態



カラー使用プロダクト



カラーレシピ&プロセス

A MP/11 3%

B MP/11 1
CL/O 1
3%

C JADE 1
CL/O 1
3%

D C/BB 3%



1. パネルごとに必要な部分にそれぞれ **A B C D** をホイールワークで塗布し、15分放置後シャンプー。

カット展開図



スタイリングプロセス&使用プロダクト

SUBLIMIC

(1) AQUA INTENSIVE VELVET OIL

STAGE WORKS

(2) LUSTER SPRAY

(3) NUANCE CURL CREAM

- (1) を全体になじませてドライ。
- ストレートアイロンで全体をスルーし、その後(2)を全体にスプレーし、シェーブをしてスタイリング。
- トップやサイドに(3)を塗布し、細部を整える。



SHISEIDO
PROFESSIONAL

WOMEN'S FASHION TRENDS from the Runway

新しいフォルムをまとい、装いはグラマーに輝き始める

装飾と構築性が、装うことの喜びとともに、再びファッションの中心に戻ってきた。
シアー素材やレース、ラッフルなどを構築的なシルエットに統合し、新しいグラマーの境地へ。
ただ華やかなだけではない、意志ある美しさが、個性そのものを輝かせる。



MAX MARA

MATURE MILANESE

ミラノらしい成熟したエレガンスを象徴するスタイル。
しなやかに身体を包むマキシコートやローブコート、
柔らかなテラリングに、端正なレザーバッグを合わせ、
キャメルやブラウン、グレーの落ち着いた色調で大人の
女性像を描く。エフォートレスに洗練された、イタリアン
ラグジュアリーの現在形。



ERDEM

SHEER LAYERS

オーガンザやチュール、レースなど透ける素材を重ねる
スタイリング。ニットやドレス、アウターの上にシアー素材
を重ね、軽やかな透明感とフォルムの奥行きを演出
する。異素材のコントラストが装いに立体感を生み、
センシュアルさと知性を両立。繊細なレイヤードで個性を
広げる、今季らしい表現。



GUCCI

BODY-CON GLAMOUR

身体に吸い付くようなフォルムが、女性のアイデンティティ
を再提示。ストレッチ素材やシアー素材によってボディ
ラインを強調し、装いの官能がリアルに復活。ミニマル
な構造でありながら強い存在感を放つ。グッチに象徴
される90年代のボディコンシャスを彷彿とさせながら、
より強く、もっと自由に。



DIOR

RUFFLE DRAMA

ラッフルやティアードを用いた装飾的なボリュームシル
エットは、軽やかさを失わない新しいバランスが特徴。
歩くたびに揺れる立体感が装いに表情を与え、ロマン
ティックな女性像を際立たせる。花や歴史的装飾を
現代的に再構築したディオールを代表格に、ドラマ
ティックで芯のあるフェミニニティが復活。



BOTTEGA VENETA

FLUID TAILORING

テーラードジャケットやスーツのシルエットを再解釈。
構築的な仕立てにエレガンスが加わり、端正さとしなやかさを
両立する。ビンストライプやチョークストライプも、オフィス
由来の定番柄ではなく、モードなグラフィックとしてスタイ
リングを引き締める。凛とした女性像を描く、現代的
テーラリング。



MOSCHINO

LACED CONSTRUCTION

レースアップや紐使い、手仕事を思わせるディテールを
装いのアクセントとして取り入れるトレンド。仕立ての
構造をあえて見せるようなデザインや、紐をフリンジの
ように長く垂らす装飾が独特の動きを生む。クラフト感の
ある表情と個性を添え、実用性と装飾性が交差する
新しいクラフトモードを提案。

MEN'S FASHION TRENDS from the Runway

テーラリング回帰。輪郭を取り戻す服、拡張する男性像

メンズでも、今シーズン最大の関心事は、服のフォルム。
ジャケットやコートは、身体ラインを描く端正な輪郭を取り戻し、一方で、柔らかな素材や装飾、流れるシルエットが男性像の境界をしなやかに押し広げる。
ファッションのパワーを再認識させる、象徴的なシーズンが幕を開けた。



SACAI

MODERN HERITAGE

ツイードやチェック、コーデュロイ、ベルベットなどの伝統素材を、色使いや軽量化仕立て、新しいシルエットバランスで再構築。保守的な懐古主義ではなく、現代の速度感に合わせてクラシックをアップデートする。端正な品格と今のムードを両立し、ヘリテージは引用ではなく編集対象へと変わる。



PRADA

SCULPTED SILHOUETTE

身体輪郭を描くテーラリングが、今季あらためて存在感を増した。ジャケットやコートは、ウエストや肩のラインを意識した構築的フォルムへ。削ぎ落としたミニマルな佇まいの中に、精緻なカッティングと仕立ての美しさが際立つ。プラダやディオールに見られる、鮮明な個性をまとう新しいエレガンス。



DIOR MEN

GLAM ROCK

スリムフィットが今季あらためて存在感を放つ。タイトジャケットやシャープなロングコートは筆頭に、スキニージーンズにも再び注目が集まった。レザーやファー、光沢素材など、70年代グラムロックを思わせる素材使いも特徴。退廃的ではなく、端正でダンディに着地させるのが今季らしいバランス。



GIORGIO ARMANI

LUXE EASE

ベルベットやシルク、ジャカードなど、艶やかな素材の存在感が増した今季。抑制された佇まいの中にも、隠しきれないグラマーのオーラが漂う。素材そのものの光沢や質感で豊かさを語り、過剰な装飾に頼らない洗練へ。夜のセンシュアルなムードを秘めた、静かな色気を宿す、新しいラグジュアリーの帰還。



BURBERRY

REFINED LEATHER

レザーの強さが、威圧感ではなく品格へとシフト。タフネスよりもしなやかさ、艶やかな光沢よりも深みのあるマットな質感が際立つ。スリムなコートや端正なパンツに加え、スーツのインナーとなるシャツまで柔らかなレザーで登場し、装いの幅も拡大。静かな権威と洗練をまとう、新時代のレザー表現。



HERMÈS

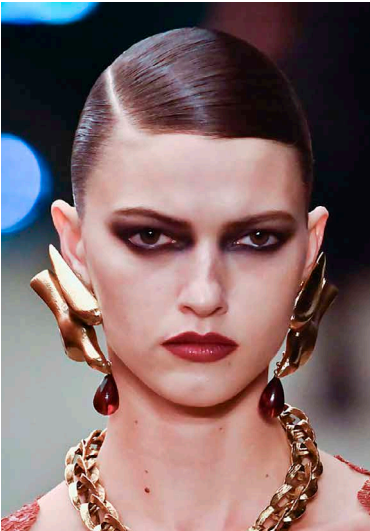
PRECISION STRIPES

テーラリング回帰を背景に、ストライプが新たな存在感を放つ。ビンストライプ、チョーク、シャドーなど、ビジネススーツ由来の定番柄を、モードな視覚リズムとして再解釈。シャープな縦線がシルエットを引き締め、端正さと個性を際立たせる。エルメスに見る、上質素材と多彩なストライプ表現が好例。

THE BEST HAIR from the Runway

整えたフォルム × グラマーのニュアンス

スリークな分け目や低いシニヨンなど、整えたフォルムがベースとなる一方、顔まわりの柔らかな毛束や艶のあるラージカールで動きを加えるスタイルも多く、グラマラスなボリュームを効かせるバランスが特徴的。華やかなラグジュアリーが再び存在感を増すシーズンに。



SAINT LAURENT

DEEP SIDE PART

深いサイドパートで分けるクラシックなスタイル。顔まわりをすっきり見せながら骨格を際立たせ、端正でシャープな印象をつくる。テラリングやエレガントな装いとも好相性で、洗練と色気を両立。サンローランのように、メイクまで含めてトータルに作り込むことで完成する、今季のモード感を象徴するヘアスタイル。



DIOR

SOFT FACE FRAME

顔まわりをデザインするように柔らかな毛束を残すスタイル。きっちりまとめたヘアだけでなく、サイドパートから長さの異なるフリンジを流したり、後ろに束ねたヘアにゆるさを加えて正面のフォルムに変化をつけるアレンジも印象的。表情にやわらかさと奥行きを生み、端正なフォルムにロマンティックな余白を加える。



JUNYA WATANABE

DARK FLAPPER

ジェルなどでタイトに固め、造形的に仕上げたスカルプチュアルなヘア。グラフィックな曲線やタイトなウェーブが、アールデコを思わせる装飾美を描き出す。強い光沢がシャープな存在感を際立たせ、モダンで退廃的なドラマを演出。顔のフレームを自在に操り、輪郭までデザインする、今シーズンらしいステートメントヘア。



MAX MARA

GLAM BLOWOUT CURLS

ブロードライで整えた、艶やかなラージカール。ナチュラルでボヘミアンなウェーブ人気が続く一方で、より磨き上げられたボリュームと流れるカールが顔まわりに華やかな動きを生み出す。豊かさがありながらも、力みのないムードをまとい、グラマラスな曲線美が洗練されたラグジュアリーを表現。往年のグラマーを現代的に更新。



CHANEL

LOW KNOT

まとめ髪は、低い位置で結ぶノットが印象的。タイトに整えればスリークで端正な印象を生み、ジュエリーやドレスが映えるモードな佇まいに。結び目のフォルムをあえて崩せば、結ぶ所作を感じさせる自然な余韻と抜け感が生まれる。ミニマルでありながら、印象を自在に変えられるバリエーションが広がっている。



PRADA

UNDONE TEXTURE

寝起きのような、少し乱れた自然な質感を残したヘア。整えない毛流れや空気を含んだラフさが、デザイン性のある服に今のリアリティを添える。プラダのように、レイヤードされた装いや着込んだような質感、装飾と日常着が交差するスタイルとの組み合わせが新鮮。ファッションとのバランスで成立する、今季らしい抜け感ヘア。

THE BEST MAKEUP from the Runway

ノーブルな肌に、エモーションを宿す

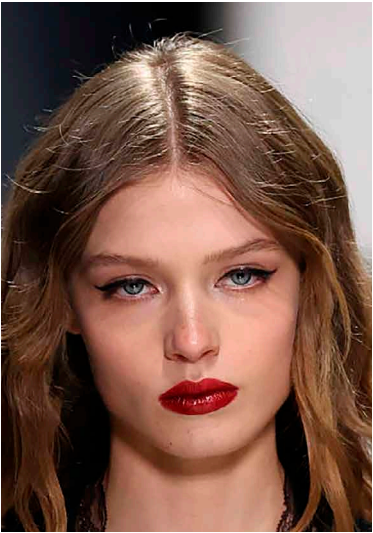
ほぼ素肌のように見えるクリーンなベースを軸にしながら、整ったノーブルな雰囲気为主流に。
そこにグラフィックなアイライン、ワインカラーのリップ、強めのチークなど、一点で印象をつくるアクセントを差し込む。
ファッションのロマン回帰とも呼応するドラマティックな表現が、今シーズンのエレガンスに華やかな緊張感をもたらす。



GUCCI

NOIR EYES

ブラックやチャコールを広くぼかしたスモーキーアイ。まぶたを囲むように深くにじませることで、90年代の生々しい色気とは異なる、無機質な緊張感を宿す。今季のシャープなテーラリングや構築的なフォルムとも好相性で、装い全体のモード感を引き上げる。視線ひとつで印象を決める、ドラマティックなアイメイク。



DOLCE & GABBANA

WINE LIPS

深いボルドーやワインカラーで彩る唇。春夏のグロッシーなリップからさらに深化し、秋冬は色の深みで女性美を表現する流れへ。にじむようなステインリップとは異なり、輪郭やフォルムを持つ端正な仕上がりも印象的。ノーブルな肌に感情的なアクセントを添え、クラシックでありながら現代的な強さと官能を感じさせる。



ANNA SUI

GRAPHIC BLACK LINER

太く大胆に描くブラックラインや、ドラマティックなキャットアイが、再び存在感を放ち始めた。ミニマルでクリーンな肌に対し、目元だけを強く際立たせる一点主義のモードメイクとして再浮上。コケティッシュな雰囲気をまといながらも、シャープなラインが表情に緊張感と意志を与え、クラシックなアイメイクをモダンに昇華。



DRIES VAN NOTEN

ROMANTIC FLUSH

頬にやわらかな血色を巡らせる、ロマンティックなチーク。ビュアなピンクやローズの色みが、肌全体にフレッシュな生命感をもたらす。頬のセンターから境界線をにじませるようにやわらかく広げることで、表情に多幸感とやさしさを添えるのが今季らしい。ノーブルな肌に可憐な感情を差し込む、旬のチーク表現。



BALMAIN

SEAMLESS CONTOUR

陰影のコントラストを抑えながら、頬骨やフェイスラインを自然に整え、引き締めるコントゥア。グレイッシュな影色を、肌の中に溶け込むようになじませて、作り込んだ印象を見せずに骨格を際立たせる。シャープさと艶やかなフローレス肌を両立し、端正でノーブルな表情を完成させる。静かな立体感で顔立ちを磨く。



FENDI

NOBLE SKIN

ノーファンデーションのように見える、ごく自然で透明感のある肌。過度なツヤやハイライトに頼らず、静かで品のある肌質が今季の理想。素肌そのものが整っていることを前提に、日々の肌管理や丁寧なスキンケアを重ねた先に成立するベースメイクでもある。知的で洗練されたスタイルを引き立てる、ノーブルな肌づくり。



<https://www.shiseido-professional.com/>



Official Instagram Account
[@shiseidopro_official](https://www.instagram.com/shiseidopro_official)



Official Facebook Account
[@Shiseido Professional Global](https://www.facebook.com/ShiseidoProfessionalGlobal)



Official YouTube Account
[@OfficialSHISEIDOProfessional](https://www.youtube.com/OfficialSHISEIDOProfessional)

